

2018.11.4

防潮森たより vol.16

200m 800本 植樹

第23回防潮森づくりが始まった。それと同時に雨が降りはじめた。

あわてて皆、カッパを着込む。

2011年の震災後から始まった防潮堤構想、翌年2012年は東北の森の防潮堤植樹の応援に。

2013年には地元の東海東南海地震に備えて、市民からKALAプロジェクトが立ち上がり、小学校校庭から植樹開始。

折に浜松市も、土とセメントを混ぜる防潮堤構想を発表。

防砂山の上に広葉樹混植密植のモデルの森づくりを、2014年までの1年間5回開催。

防潮堤が実際にでき始めたころ2015年から防潮堤内へ植樹開始。

県のやり方とは違う混植密植の方法はすべて資金、人、広報、全部自分たちでやらねばならない。

第8回から23回までこの4年間に突っ走って来た防潮森づくりである。

皆様の尊い寄付や苗木や汗のお陰である。 晴れも曇りも雨も嵐もあった。

雨は苗木たちにとって恵みの雨である。 有難い雨である。



今回、ボーイスカウト静岡県連盟をまとめられた、ボーイスカウト磐田第3団団長Kさんよりの挨拶から。

オープニングセレモニーが始まった。続いて理念唱和。ワンダーライフさんに続いてみんなで唱和。

広葉樹の植樹でひとつになる。輪を尊ぶ。感謝と笑顔を大切に等、今回も目指すところだ。

今回は初めての試みとして育樹と植樹に分かれて行うことになった。それぞれの場所もかなり離れている。

育樹の説明は宅建協会のMさん。植樹の説明はガールスカウト41団のNさん。

広葉樹は地中深く根を張って津波よりみんなの命や財産を救ってくれる。植え方を紙に書いて説明。



700m～1000メートル離れた防潮堤の上を歩いて植樹地に到着。

前もって用意した苗木、麻袋、水、を植樹地へ運ぶことから植樹スタートである。

東部中社会貢献部の皆さん、今回で7回目の参加、「東中青龍の森NO7」。

ボーイスカウト県連盟のメンバーがみんなの看板を付けてくれた。

「しっぺいの森NO2」と「聖フランシスコの森」の植樹風景である。

しっぺいの森はボーイスカウト磐田第3団さんに袋井第4団さんが加わり協力して植樹。

聖フランシスコの森は、ボーイスカウト浜松第14団さんに浜松12団、15団さんが協力。

小さなビーバー隊員、カブ隊員も雨の中の植樹をがんばっていた。



浜松学院大学防災サークルの皆さんによる共創の森づくりの風景である。

今回で8回目の植樹になる。まさにこれまで共に創って来た。

ワンダーライフの皆さんによる、「引き受けの森NO3」の植樹風景。

グループの連携がすばらしい。



続いて篠原連合自治会さんが5つの森づくりを今回されている。昨年5月に続くNO2である。
東から「篠原東の森NO2」「篠原西の森NO2」の看板が取り付けられて行く。



篠原町はとても広く、この植樹地も篠原である。また、美味しい玉ねぎの産地でも有名なところだ。
忙しい農繁期の合間を都合付けて皆さん植樹に参加して来ている。説明通りに水漬けをしっかりとやってくれていた。
続いて「篠原坪井の森NO2」、「篠原馬郡の森NO2」である。

一番西の「舞阪駅前森NO2」の完成である。ここには神奈川県平塚から研進・進和学園さんの3名の植樹専門家が
指導に入ってくれた。タブノキ、アラカシーと、植樹苗木の名前を唱えると自然に元気な笑顔になることも教えて貰った。今回の8
00本の植樹苗も研進・進和学園さんで育て寄付してくれたものだ。



学院大の「共創の森NO8」完成ー！ 終了、植樹地を全員あとにする。
クロージングセレモニーが始まった。早く終わったところはずいぶん待っていてくれたようだ。
これからは早く終わったところは他の森づくりに協力し合ってみんなで早く終了することにしよう～。

各団体の感想を代表の人が一言述べていく。今回は育樹の団体も感想を一言。
浜松城北工業高校の生徒の皆さんは雨の中、自転車で移動しながら5つの森の育樹をした。
城北工業高校環境部ではこれまでにNO11の森づくりをされ、一番多い。

続いて浜松ガールスカウト第41団の皆さんの一言。

他に浜松信用金庫都田支店さんときらりタウン支店さんも育樹に参加された。
自分の森だけでなく他の団体の森の育樹もされ、只、小さな子が参加していたため
雨に濡れて風邪にならないよう少し早めに退出、セレモニーでの発表は出来なかった。

また、今回静岡銀行篠原支店の皆さんも植樹に参加され、小さな親切運動より寄付をしてくださいました。感謝。
進行役、ボーイスカウト浜松15団のTさんによる育樹のお話。

「やはり、植えた苗の周りの草を刈らないと刈るとでは成長に著しく違いが出ます、
ぜひ、育樹をもっとやってみましょう」と、力強く述べてくれた。

そして最後に篠原連合自治会長Oさんの挨拶。

「今日の植樹祭で植えた広葉樹の樹々によって私たちの町が守られることを思うと、とても感謝致します。」

連合自治会長さんの言葉で植樹が出来て本当に良かったと思う。

セレモニーの終了後、東部中さんや学院大さんは輪になってミーティングをしていた。気持ちの良い光景である。

又、テントや道具など後片づけを最後まで協力して下さった方々に、心から感謝！

雨の中、皆さま大変お疲れさまでした。

